数　学　Ⅱ　学　習　指　導　案

日・時	平成２２年　６月　１日（ 火 ）第２限			指導者	
学年・組	２年 ３ 組	教　室	２３２	教科書	改訂版　数学Ⅱ（数研出版）
単　元	第３章　図形と方程式				

指導目標	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現することにより、事象を数学的に考察、処理できるようにする。	指導計画	第３節　軌跡と領域 ７　軌跡と方程式　・・・・・・・　２時間 ８　不等式の表す領域　・・・・・　３時間 （本時はその１）

本時の主題	１次不等式で表される領域
前時の課題	課題プリントを解いておく。
目標	１　１次不等式を満たす点（x，y）の存在範囲を図示できるようにする。 ２　連立不等式の表す領域は、２つの領域が重なった部分であることを理解させる。

指導過程

	指　導　内　容	時間	指導上の留意点	資料・教具・評価の観点等
導入	１　前時の課題を解説する。 ２　本時の目標を説明する。	５	・既習事項が理解できているか確認する。 ・不等式を満たす点(x,y)の存在範囲はどうなるか考えさせる。	・復習の内容から、本時の内容につなげる。 <関心・意欲・態度>
展開	１　$y>mx+n$ の表す領域は境界線の上方、$y<mx+n$ の表す領域は境界線の下方となることを説明する。	５	・境界線の上方、下方になる理由が理解できたか確認する。	・不等式の性質を理解している。　<知識・理解>
	２　$ax+by+c>0$ の表す領域の求め方を説明する。（例11）	５	・式変形における不等号の向きに注意させる。 ・境界線上の点を含むか含まないかについて留意させる。	・解法が理解できている。　<知識・理解>
	３　練習33を解かせる。 (1)$y>2x-3$　(2)$y<-x+1$ (3)$3x+y-2>0$ (4)$3x-4y>-12$	１０	・板書させ、解説する。	・式変形が正しくできている。　<表現・処理>
	４　問６(1)$y<2$ (2)$x>1$ の表す領域の求め方を説明する。	５	・他方の値は任意であることを理解させる。	・不等式の意味を理解している。　<知識・理解>
	５　練習34を解かせる。 (1)$x<2$ (2)$y>-1$ (3)$y+3<0$	５	・正しく求められているか確認する。	・積極的に取り組んでいる。　<関心・意欲・態度>
	６　連立不等式の表す領域を説明する。	５	・２つの領域が重なった部分であることを理解させる。	・連立不等式の意味が理解できている。 <知識・理解>
	７　$(x-y)(x+y-2)<0$ の表す領域を求めさせる。	５	・２組の連立方程式の表す領域であることを理解させる。	・問題の内容が理解できる。 <数学的な見方や考え方>
整理	１　本時のまとめ ２　次時の予告	５	・等式を満たす点が境界線上の点、不等式を満たす点が境界線のいずれかの側の点であることを理解させる。	・領域の意味が理解できる。　<知識・理解>

次時の課題	「クリアー数学Ⅱ＋Ｂ」　１９５，１９６
備　考	普通科　理系　　生徒数　３６名